

2026年6月15日

各位

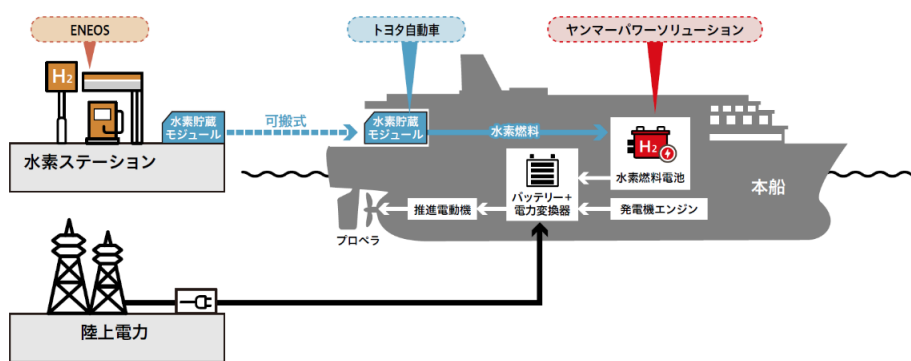
日本郵船株式会社
 ヤンマーパワーソリューション株式会社
 ENEOS 株式会社

水素燃料電池システムを採用した新造レストランシップへの水素供給について

ENEOS 株式会社（以下、ENEOS）、日本郵船株式会社（以下、日本郵船）、ヤンマーパワーソリューション株式会社（以下、ヤンマーパワーソリューション）の3社はこのたび、日本郵船グループが天王洲アイルを拠点に運営中のレストランシップ「LADY CRYSTAL（レディ クリスタル）」の後継船で、2027年に就航予定の新造レストランシップ（以下、本船）に、水素燃料電池システム（以下、本システム）※を採用し、ENEOS が、東京都内を中心とした水素ステーションから本船へ水素を供給することといたしました（以下、本取り組み）ので、お知らせいたします。

本船の新造にあたり、日本郵船とヤンマーパワーソリューションは、トヨタ自動車株式会社の水素貯蔵モジュールを用いた本システムを採用、ヤンマーパワーソリューションが本船への搭載に適するよう統合設計を施します。本システムが使用する水素は、ENEOS が東京都内を中心とした水素ステーションで製造し、水素貯蔵モジュールへ充填します。ENEOS は全国で多数の水素ステーションを展開・運営してきた実績を活かし、水素の安全・安定供給に努めてまいります。

【本取り組みの概要】



■本船概要

全 長：約 48.0m
 全 幅：約 9.5m
 喫 水：約 2.1m
 総トン数：約 480トン

※ 水素を燃料として発電するため GHG や窒素酸化物（NOx）を排出せず、環境負荷低減への貢献が期待されます。

3社は、本取り組みを通じて船舶分野における水素利活用の社会実装を進めるとともに、海運業界の脱炭素化に貢献してまいります。

以 上